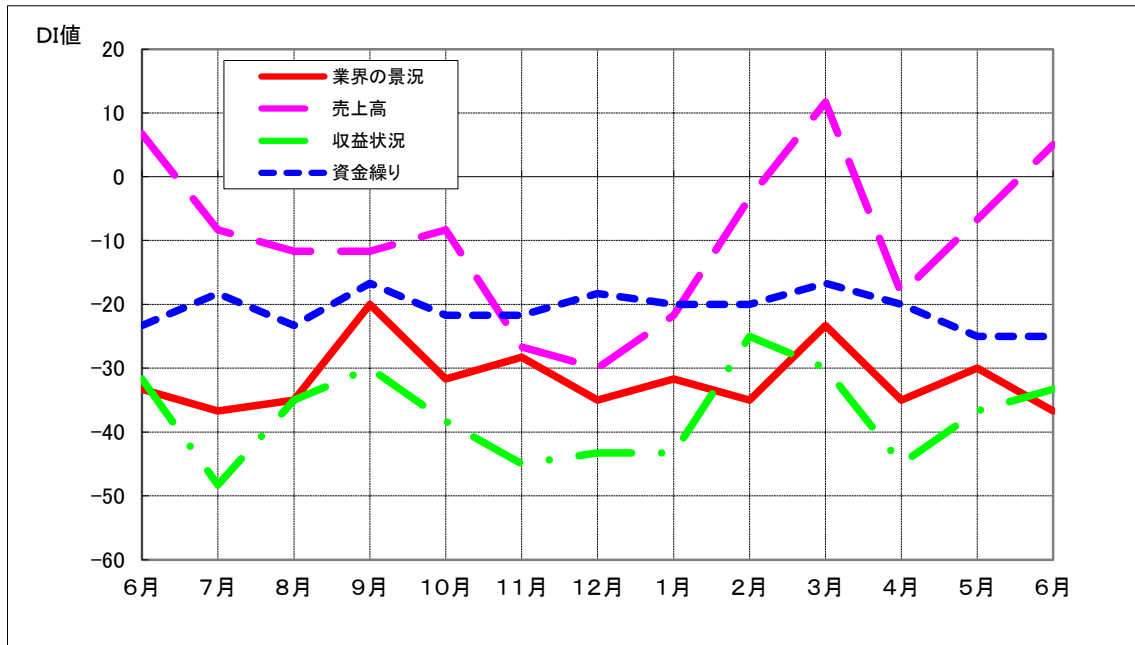


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和4年6月～令和5年6月

単位:ポイント



	R4					R5							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-33.3	-36.7	-35.0	-20.0	-31.7	-28.3	-35.0	-31.7	-35.0	-23.3	-35.0	-30.0	-36.7
売上高	6.7	-8.3	-11.7	-11.7	-8.3	-26.7	-30.0	-21.7	-3.3	11.7	-18.3	-6.7	5.0
収益状況	-31.7	-48.3	-35.0	-30.0	-38.3	-45.0	-43.3	-43.3	-25.0	-30.0	-45.0	-36.7	-33.3
資金繰り	-23.3	-18.3	-23.3	-16.7	-21.7	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-25.0	-25.0

6月のDI値は前月と比べ、2項目改善、1項目不変、1項目悪化となった。「業界の景況」DI値は6.7ポイント悪化のマイナス36.7ポイント、「売上高」DI値は11.7ポイント改善のプラス5.0ポイント、「収益状況」DI値は3.4ポイント改善のマイナス33.3ポイント、「資金繰り」DI値は±0のマイナス25.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、4項目悪化となった。「業界の景況」DI値は3.4ポイント悪化、「売上高」DI値は1.7ポイント悪化、「収益状況」DI値は1.6ポイント悪化、「資金繰り」DI値は1.7ポイント悪化となった。

製造業においては、引き続き、原材料や電気料、燃料、資材等の価格の高止まりや高騰により収益が悪化しているとの報告が寄せられている。食料品業や窯業・土石製品業では値上げ申請や価格転嫁を進めているが、それを上回るペースで値上がり分のコスト負担が増加している。鉄鋼・金属業では長期に渡る原材料費上昇の価格転嫁の対応について負担が大きく苦慮しているとの報告もある。また、印刷業、木材・木製品業では製品需要の変化もあり、業況は回復せず、先行きが不透明な状況となっている。

非製造業においては、総会時期に入り懇親会等が開催されたことでサービス業や運輸業では利用者が増加するなどプラスの影響が出ている。商店街については昼間の時間帯やイベントによっては人流が戻り始めているが、仕入価格等の高騰で収益は厳しいとの声がある。また、建設業では需要の増加により、人手不足となっている。